

特集

プレシジョン・メディシン 時代における 腫瘍循環器学の重要性

企画：佐瀬一洋

序章

新しい学際領域としての腫瘍循環器学
—循環器医の立場から—

小室一成

新しい学際領域としての腫瘍循環器学
—がん治療医の立場から—

石岡千加史

I 章 腫瘍循環器学とは

疫学研究からみた腫瘍循環器学の必要性

大倉裕二

がん治療成績の向上と腫瘍循環器学の重要性

勝俣範之

小児および AYA 世代における
がん診療連携と腫瘍循環器学への期待

清水千佳子

国内外における腫瘍循環器学の
現状と今後の展望

南 学

II 章 がん医療の進歩と腫瘍循環器学

アントラサイクリン系の薬物療法と
がん治療関連心血管疾患 (CTRCD)

赤澤 宏

放射線療法の進歩と
がん治療関連心血管合併症 (CTRCD)

志賀太郎

分子標的薬と
がん治療関連心血管疾患 (CTRCD)

坂東泰子

がん免疫療法における
心血管有害事象 (IrAE) とその管理

向井幹夫・塩山 渉

腫瘍循環器領域の診療ガイドライン
—国内外の現状および今後の展望—

郡司匡弘・矢野真吾

III 章 プレシジョン・メディシン時代における 循環器系の予防・診断・治療技術

腫瘍循環器領域における
画像診断技術の研究開発と臨床評価

根岸朋子・根岸一明

腫瘍循環器領域におけるバイオマーカーの現状

中川 仁・斎藤能彦

腫瘍循環器領域における不整脈

庄司正昭

腫瘍循環器領域における
血栓塞栓症とその予防・診断・治療

保田知生

腫瘍循環器領域における治療介入とその評価
—ランダム化比較対照試験から—

リアル・ワールド・エビデンスまで—

田村祐大・田村雄一

IV 章 腫瘍循環器学 トピックス

ヒト iPS 細胞技術を応用した抗がん剤の
心毒性評価と個別化医療への展望

佐塚文乃・諫田泰成

クローン性造血 (CHIP) と腫瘍循環器学

福本義弘

腫瘍循環器リハビリテーション (CORE)

古川 裕